

YAMANASHI
History

山梨 歴史めぐり旅

週末は
山梨に
います。



山梨県

2007年 NHK大河ドラマ
「風林火山」舞台地山梨。

無敵の騎馬軍団と「風林火山」 富士に託した夢

武田信玄と山本勘助

甲斐の府中「甲府」 武田信玄、誕生の地

武田氏の館(つつじヶ崎館)は永正16年(1519)、信虎により現在の甲府市・武田神社の地に築かれた。

甲府の名は「甲斐府中」の意で、府中とは、政治を司る場所。館は三方を山に囲まれ、相川扇状地の開口部にあり、南に富士を仰ぎ、甲府盆地を一望する。後に信玄、勝頼とひき継がれ武田氏三代にわたりこの館で領国経営が行われた。武田神社の周囲には、現在でも当時の堀を残している。

館の完成した翌年には、背後に要害城が築かれた。戦国大名の典型的城郭だ。信玄は大永元年(1521)11月3日、要害城で誕生した。ときは戦国の世、災害と凶作、疫病の流行により、各地で内乱が起り、下克上の時代だった。



武田神社周辺の空撮と堀

幼少より「禪」を学ぶ 21歳で甲斐国主となる

武田一族の祖は、源平の合戦で名を轟かせた甲斐源氏。「一の谷の戦い」「壇ノ浦の戦い」で先陣をきり、源頼朝の鎌倉軍団にもまして勢力をもち、「平家物語」など、戦記の名場面を彩る。弓の名手・浅利与一もその一人だ。

信玄は武田氏の19代。幼少より禪を学び、要書山周辺
古代中国の「孫子の兵法」を修得し、漢詩、和歌、書画にも親しんだ。初陣は16歳、家督を継いだのは天文10年(1541)、21歳のとき。日々、富士を仰ぎ、理想に燃え、国造りに励んだ。



要書山周辺



甲州金(恵林寺所蔵)



山本勘助肖像画(恵林寺所蔵)

諸国遍歴の軍師・勘助「築城」にも才能を発揮

智将・武田信玄とともに、戦国の世を駆け抜けた軍師・山本勘助。三河国の出身で、若い頃から諸国を遍歴、独自の兵法を確立した。信玄との出会いは天文12年(1543)3月で、信玄は国主になったばかりの23歳、勘助は51歳だった。

信玄と諏訪御料人(由布姫)との婚姻の仲立ちをしたのも勘助と伝えられ、後二人の子勝頼が武田家の家督を継ぐことになる。知略すぐれる勘助は「武田二十四将」にも数えられ、上杉氏との川中島の合戦で命を落としたとされる。

また、「築城術」にも秀いで、「籠城しやすく、攻められにくい城」を各地に築いた。「躑躅ヶ崎の館」(現武田神社)にも遺構がある。



二十四将図(武田神社所蔵)

戦国をかける「風林火山」 信玄「百戦百勝」の秘策

武田軍団の軍旗は「風林火山」。中国の兵書「孫子軍争編」の「疾如風、徐如林、侵掠如火、不動如山」の14文字を配し、「はやくこと風のごとく、しずかなること林のごとし、しんりやくすること火のごとく、うごかざること山のごとし」の意。

信玄は「敵を知り、己を知れば、百戦危うからず」を戦略とした。「百戦百勝」の原語で、軍団を「風」「林」「火」「山」のごとく率い、敵をあざむき、変幻自在に戦った。武田軍団の兵力は最大総数5万2千といわれる。

20年の偉業「信玄堤」 金山開発や街道整備も

信玄は領国経営にも幅広い施策をこうじた。その一つが、20年の歳月をかけた治水事業「信玄堤」。これにより甲府盆地は水害から守られ、新田が開発され、収穫高が増大した。また、商業を奨励し、甲斐九筋の街道整備も進めた。

経済力強化のために金山開発にも積極的だった。四方を山で囲まれていることから「のろし」による情報網を整備し、甲斐の法律「甲州法度」も制定した。今日に伝えられる「喧嘩両成敗」も、このうちのの一つだ。



孫子の旗(雲峰寺所蔵)



甲州法度(寿徳寺所蔵)



鎌倉街道

甲斐の府中「甲府」。武田3代、60余年の館跡。



武田神社 拝殿



甲斐善光寺

甲斐善光寺

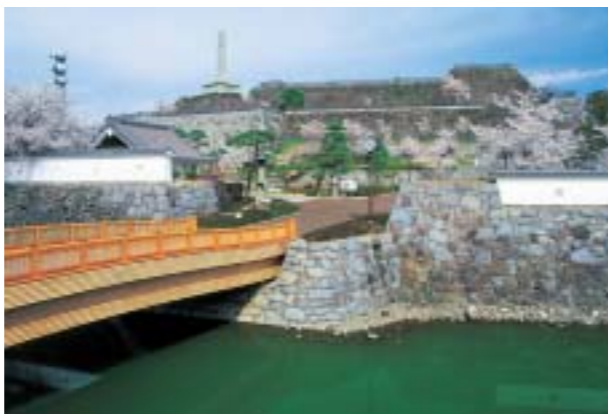
甲府市善光寺3丁目 善光寺駅→徒歩10分

信玄の創建。川中島の合戦で信濃善光寺が兵火にかかるのをおそれ、本尊・諸仏が移された。本堂は東日本有数の木造建築物で重要文化財。

甲府城跡(舞鶴城公園)

甲府市丸の内 甲府駅→徒歩3分

武田氏滅亡後豊臣秀吉の命により築城された。「鶴が羽根を広げたような城郭」と讃えられ、「舞鶴城」と呼ばれた。現在はその姿は失われているが、県民の憩いの場となっている。



甲府城跡

武田家3代にわたる居館として知られる躑躅ヶ崎の館跡から、愛宕山の裾野をめぐる「甲府五山」。武田家3代の盛衰の軌跡をたどる散策の道。

甲府五山

武田信玄が「甲府五山」と定めた臨済宗妙心寺派の寺院。躑躅ヶ崎館から甲府盆地北部の山裾にあり武田氏の文化遺産を今に伝えている。

長禅寺 甲府五山

甲府市愛宕町 甲府駅→徒歩15分

信玄の母・信虎夫人の墓がある。大井夫人とも呼ばれる。信玄が信虎を駿河に追放した後は、髪を切って仏門に入り、「隠居曲輪」で過ごす。



長禅寺

東光寺 甲府五山

甲府市東光寺3丁目 善光寺駅→徒歩15分

信玄の長男でありながら、父と対立、自ら命を絶った義信の墓がある。信玄の妹を夫人としながらも、幽閉された諏訪頼重の墓もある。



東光寺

円光院 甲府五山

甲府市岩窪町 甲府駅→バス5分→徒歩15分

信玄の正室・三条夫人の墓がある。夫人は京都の公卿・三条公頼の娘。16歳で甲斐に嫁ぎ、信玄の天下取りの夢を支えた。



円光院

法泉院 甲府五山

甲府市和田町 甲府駅→バス10分→徒歩15分

信玄の4男で、武田家最後の当主・勝頼の菩提寺。勝頼は長篠の合戦で織田・徳川連合軍に敗退、後に天目山で最期を遂げた。埋葬した折りに植えられた桜は、7代目。



大泉寺

能成寺 甲府五山

甲府市東光寺町 金手駅→徒歩10分

信玄の「制札」がのこる。かつて大池があったことを偲ばせる「宿龍の碑」、「名月や池をめぐりて夜もすから」の芭蕉の句碑がある。

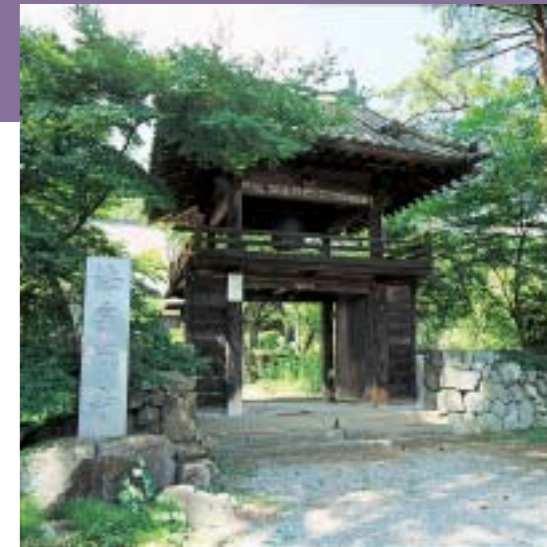
大泉寺

甲府市古府中町 甲府駅→バス10分→徒歩10分

開基は武田信虎。御霊殿には信虎・信玄・勝頼の木像が安置され、武田3代の墓がある。竹林を背景にした池泉回遊庭園は信虎の築庭といわれる。



金桜神社



法泉寺



能成寺



武田信玄公墓所

武田信玄公墓所

甲府市岩窪町 甲府駅→バス10分→徒歩20分

信玄の遺言によりその死は3年間秘匿され、この地に葬られていたと伝えられている。

金桜神社

甲府市御岳町 甲府駅→バス50分

金峰山の里宮で、修験者や山伏たちの山岳道場としての歴史をもつ。武田氏の加護を受けて栄え、ゆかりの文化財を寺宝として伝える。

入明寺

甲府市住吉4丁目 南甲府駅→徒歩10分

信玄の2男・竜宝の墓がある。天然痘のために失明、僧籍に入り「お聖道様」と慕われた。勝頼が滅びた翌日、斬殺とも、自刃したともいう。

光照寺

甲斐市岩森 塩崎駅→徒歩5分

薬師堂は国の重要文化財。室町時代の特色を今日に伝える。信虎の加護を受け、数多くの宿坊をもつ寺院として隆盛した。いまは無住寺。

信玄堤

甲斐市竜王 竜王駅→徒歩20分

釜無川の氾濫を防ぎ、甲府盆地を洪水から守る治水事業。信玄が20年の歳月をかけて完成した。「霞堤」など、独特の工法を駆使している。



信玄堤

甲府・昇仙峡エリア 甲府市・甲斐市・中央市・昭和町



武田神社(躑躅ヶ崎館跡)

甲府市古府中町 甲府駅→バス10分

永正16年(1519)、信虎はこの地に館を築き「甲斐府中」を定める。これより信虎・信玄・勝頼の武田3代、60余年の居館となる。国史跡。

要害城跡・積翠寺

甲府市上積翠寺町 甲府駅→バス15分
徒歩40分で要害城跡

躑躅ヶ崎館の北東2キロ。戦国時代を代表する山城。武田信玄の誕生地。積翠寺には、信玄が産湯を使ったという井戸が残っている。



積翠寺

清里・葦崎・南アルプス エリア

北杜市・葦崎市・南アルプス市



願成寺

葦崎市神山町 葦崎駅→車10分

武田家の祖・信義の墓所。「富士川の合戦」で平家に大勝した武将。「平家物語」「源平盛衰記」にも登場する。墓は鎌倉初期の「大五輪塔」。

願成寺

八ヶ岳の麓、湧水と清流の里。武田家発祥の地。



武田八幡宮

武田八幡宮

葦崎市神山町 葦崎駅→車15分

武田家発祥の地にある氏神。甲斐源氏の信義はここで元服し、武田を名乗り、武田氏の始祖となった。本殿は天文10年(1541)、信玄の造営。

勝頼の正室・北条夫人の願文
夫人は諏訪へ出陣した勝頼の武運と戦勝を祈り、武田家滅亡の直前、「霊神力を合わせて勝つ事を」と祈願。その願文を武田八幡宮に奉納した。



新府城跡

新府城跡

葦崎市中田町 新府駅→徒歩15分

長篠の戦いで大敗した勝頼が天正9年(1581)、形勢を立て直すべく七里岩に築いた城。翌年3月3日、織田・徳川軍に攻められ、自ら火を放つ。



新府桃源郷

新府桃源郷

穴山駅・新府駅・葦崎駅周辺

山梨県でもっとも開花の遅い桃源郷。残雪の南アルプスを眺望し、桃、菜の花畑が広がり、新府城跡へと道が続く。市営の温泉もある。

七里岩

葦崎～白州付近までの釜無川左岸

八ヶ岳の火砕流が形成した大地。南に日本3大急流の一つ、富士川(釜無川)が流れ、浸食し、断崖となっている。南北約7里(30キロ)におよぶ。

信玄が造営したといわれる武田八幡宮。甲斐源氏の信義はここで元服し、武田を名乗った。湧水に恵まれたこの地には、信玄の手による三分一湧水もある。



清光寺

清光寺

北杜市長坂町 長坂駅→徒歩20分

甲斐源氏の祖・新羅三郎義光の孫、黒源太清光の墓がある。清光の2男は武田家の祖・武田信義。境内のエドヒガンは樹齢250年。



正覚寺

正覚寺

北杜市須玉町若神子 葦崎駅→バス20分→徒歩5分

甲斐源氏の祖・新羅三郎義光の菩提寺。その子、義清の建立。参道入口に、地域の信仰を集める「味噌なめ地蔵」が安置されている。

若神子城跡

北杜市須玉町若神子 葦崎駅→バス20分→徒歩10分

武田の軍用道路「棒道」の起点。また、「のろし」の中継地で、長野・甲府間の情報を2時間で伝えた。復元された「のろし台」がある。



小荒間古戦場跡

小荒間古戦場跡

北杜市長坂町小荒間 甲斐小泉駅→徒歩2分

天文9年(1540)2月、信玄が信濃の村上義清と合戦、勝利した戦場。信玄の本陣跡は「中屋敷」と呼ばれ、「御座右」「耳塚」などがある。

小荒間番所跡

北杜市長坂町小荒間 甲斐小泉駅→徒歩7分

「棒道」の道幅は3メートル。道中には関所や番所がおかれ、往来する兵士や馬の世話、食糧・武具の補給をする施設が整えられていた。



棒道

棒道

北杜市長坂町・小淵沢町 甲斐小泉駅→徒歩20分

甲府と北信を結ぶ最短の軍用道路。八ヶ岳山麓を直線に貫くことから「棒道」の名がある。道祖神が散在し、親しい表情で道案内をする。

三分一湧水

北杜市長坂町小荒間 甲斐小泉駅→徒歩5分

八ヶ岳山麓の湧水の1つ。信玄が3つの村に等しく水を配分したことから「三分一」の名がある。水中に三角柱を施し、流れを3等分する。

将棋頭 石積出し

南アルプス市有野 甲府駅→バス40分→徒歩10分

信玄の治水工法。御勅使川に「将棋頭」「石積出し」を設け、水流を2分して釜無川と合流させ、さらに「高石」にあて、水勢を弱めた。



三分一湧水

古長禅寺

南アルプス市鮎沢 甲府駅→バス40分→徒歩10分

信玄の母・大井夫人の菩提寺。甲府の長禅寺に対して古長禅寺という。庭園は夢窓国師の作。樹齢600年の大ビャクシンは国の天然記念物。

古長禅寺

風林火山館

北杜市長坂町小荒間 小淵沢駅→車5分
TEL.0551-32-1000

入館料 大人(高校生以上)300円
大人団体(15人以上)1人250円
子供(小・中学生)100円

休館日 平成20年1月7日迄は
撮影日を除き無休。

※テレビ等の撮影日は、
原則として観覧できません。



時代考証に基づき、武田信玄の館を再現。19,000平米の敷地に大手門、主殿、櫓、御番所、的場などを配置し、堀や石垣が囲む。

くだもの＆ワインの里 エリア

山梨市・甲州市・笛吹市



恵林寺
甲州市塩山小屋敷 塩山駅→バス13分

信玄の菩提寺。庭園は夢窓国師の築庭で、上段が枯山水、下段に心字池を配した池泉回遊式で、国指定名勝。四脚門は重要文化財。宝物館では武田氏の文化財約100点を所蔵。

雲峰寺
甲州市塩山上萩原 塩山駅→バス15分→徒歩5分

武田氏代々の祈願所。重宝「日の丸の御旗」、軍旗「孫子の旗」などを所蔵。境内のエドヒガンは「峠の桜」とも呼ばれ、樹齢800年。宝物館では武田氏の重宝を所蔵。

菅田天神社
甲州市塩山上於曾 塩山駅→徒歩10分

府中の鬼門にあたる神社。武田氏の神宝「楯無鏡」を所蔵。鎌倉時代に製作された県内最古の鏡で、国宝。信玄は合戦の軍神とした。

向嶽寺
甲州市塩山上於曾 塩山駅→バス5分

臨済宗向嶽寺派の本山。「塩ノ山」の麓で、南に富嶽(富士山)を望むことから「向嶽」の名がある。巨大な石を配した庭園は国指定名勝。

大井俣窪八幡神社
山梨市北 山梨市駅→車5分

韮崎市の武田八幡宮とともに、武田氏の氏神として崇拝された。貞観元年(859)、大井俣に祀られ、その後、現在の窪に移された。重要文化財。

武田氏500年の栄光と至宝。一族滅亡の伝説の地。



雲峰寺



菅田天神社



清白寺



向嶽寺



大井俣窪八幡神社



放光寺



恵林寺



大善寺



景德院

景德院
甲州市大和町田野 甲斐大和駅→徒歩30分

天正10年(1582)、勝頼37歳、夫人19歳、嫡男・信勝16歳。織田・徳川連合軍に追いつめられた武田勝頼はこの地で自刃した。甲斐国主として500年栄えた武田一族は滅亡した。

放光寺
甲州市塩山藤木 塩山駅→バス15分

仁王門は鎌倉時代のもので、重要文化財。庭園には四季の花が咲き「花の寺」と親しまれる。重要文化財の「天弓愛染明王」は日本最古。宝物館では重要文化財を所蔵。

清白寺
山梨市三ヶ所 東山梨駅→徒歩6分

御坂山塊、大菩薩峠を借景として建つ。元弘3年(1333)、夢窓国師の開山。井戸は諏訪湖に通じていると伝えられ、参道は梅の名所。本殿は唐様建築で国宝。

大善寺
甲州市勝沼町勝沼 勝沼ぶどう郷駅→徒歩40分

養老2年(718)創建の古刹。武田氏の祈願所で、薬師堂は国宝。池泉鑑賞式蓬莱庭園は県指定の名勝。5月8日の「藤切り祭り」で名高い。

徳川と織田の連合軍に追いつめられ、信玄の後を継いだ勝頼が日川溪谷の谷あいにて自刃。その冥福を祈るために家康が建立した景德院が武田家終焉の地を見守っている。

万力林
山梨市万力 山梨市駅→徒歩3分

信虎・信玄の治水遺跡。笛吹川の氾濫を防ぐもので、上流からの濁流を林に導き、水勢を弱め、土砂をせき止め、水だけを下流に流した。



万力林

勝沼氏館跡
甲州市勝沼町勝沼 勝沼ぶどう郷駅→徒歩35分

信虎の弟・勝沼信友の館跡。武蔵・相模方面の砦になった。「勝沼」の地名のおこりでもある。館跡は発掘され、歴史公園になっている。

浅間神社
笛吹市一宮町一ノ宮 山梨市駅→車15分

甲斐国の一の宮で、祭神は木花開耶姫命。信玄の奉納した後奈良天皇の「紺紙金泥般若心経」は重要文化財。4月の「御幸祭」で名高い。



吉祥寺

吉祥寺
山梨市三富徳和 塩山駅→バス40分

本堂の欄間の大百足は「武田百足衆」に由来する。境内のエドヒガンは「新羅桜」と呼ばれ、甲斐源氏の祖・新羅三郎のお手植えという。

慈眼寺
笛吹市一宮町末木 山梨市駅→車15分

武田氏の祈願所。鐘楼門、本堂、庫裡はいずれも入母屋造りで、国指定の重要文化財。鐘楼門のボタン、キク、ハス、ビワの彫刻は秀逸。

称願寺
笛吹市御坂町道場 石和温泉駅→車25分

正応5年(1292)開山の時宗の寺。県指定天然記念物の「ショウガンザクラ」は、樹齢500年の原種の桜。開花とともに若葉が萌える。



浅間神社



栖雲寺



永昌院

栖雲寺
甲州市大和村木賊 甲斐大和駅→車15分

勝頼主従が落ちのびようと目指した地。中国の天目山と似た秘境であることから開かれた寺。巨大な自然石に「磨崖仏」が彫られている。「蕎麦切り」発祥の地。

永昌院
山梨市矢坪 山梨市駅→車20分

開基は武田信昌。勝頼が合戦で打ち鳴らしたという伝説の銅鐘は、県指定文化財。信昌の墓所への山道は「あじさい道」で、花の名所。

山梨岡神社
笛吹市春日居町鎮目 石和温泉駅→徒歩20分

源家武門の祖神で、信玄は出陣のとき必ず社参した。自筆の社参状も残る。本殿は国指定の重要文化財。「太々神楽」は県指定の無形文化財。

福光園寺
笛吹市御坂町大野寺 石和温泉駅→車20分

桜並木が続き、鐘楼門脇に江戸期の石仏群が並ぶ。宝物殿の吉祥天、毘沙門天、持国天は重要文化財。観音堂の香王観音は行基の作。

天神社
山梨市大工 山梨市駅→車15分

祭神は菅原道真。本殿は大永2年(1522)、信虎の造営で、重要文化財。大工という地名は、本殿造営の大工が居住したことに由来する。



山梨岡神社



福光園寺

富士川流域 エリア

身延町・南部町・早川町・市川三郷町
増穂町・鵜沢町



下部温泉郷

身延町上之平 下部温泉駅下車

信玄の隠し湯。信玄が川中島の合戦で受けた傷を癒した。下部川の渓流沿いの温泉街。神経痛、打ち身、胃腸病などに効果がある。



下部温泉郷

甲府盆地を眺望する平塩岡、甲斐源氏の勇姿。

身延山久遠寺

身延町身延 身延駅→バス15分→徒歩10分

日蓮宗総本山。日蓮聖人は、安房国・小湊に生まれ、「法華経」を説き「立正安国論」をまとめた。身延に入山したのは文永11年(1274)。



身延山久遠寺

湯之奥金山博物館

TEL.0556-36-0015

身延町上之平 下部温泉駅→徒歩3分

信玄の隠し金山。湯之奥3金山のうち中山金山は、金山遺跡として3番目の国史跡。金山遺跡にある博物館。砂金採り体験ができる。

甲斐源氏旧跡

市川三郷町市川大門 市川大門駅→徒歩10分

釜無川と笛吹川の合流する市川大門の小高い丘を「平塩岡」という。曾根丘陵の西にあり、新羅三郎義光の3男・義清が居住した。

円蔵院

南部町南部 内船駅→徒歩8分

天文24年(1555)、穴山氏6代・信友により建立。この地特有のジュンサイ、カギガタアオイ、コシダラウジロが茂り、県指定記念物。

最恩寺

南部町福士 井出駅→車10分

穴山信友の嫡男・勝千代の菩提寺。16歳で早世した。禅宗様式の仏殿は重要文化財。「穴山勝千代画像」は県の文化財。周辺はタケノコの産地。

南松院

身延町下山 身延駅→バス20分→徒歩25分

信玄の姉で、穴山信友夫人の菩提寺。石庭は「九山八景」を表す禅庭。池の中の石の亀は、父・信虎から譲られたものという。

大聖寺

身延町八日市場 甲斐岩間駅→車15分

宮中で「鳴弦の術」をもちい、魔物を退治した加賀美遠光の伝説が残る。本尊はこの功績により天皇から賜った「不動明王」で重要文化財。



穴山信友画像(円蔵院所蔵)



武田二十四将図(南松院所蔵)

東部/富士山・富士五湖 エリア

大月市・都留市・上野原市 / 富士河口湖町・富士吉田市・鳴沢村・丹波山村・小菅村・道志村 / 山中湖村・忍野村・西桂町



山中諏訪神社

山中湖村山中 山中湖IC→車3分

信玄が天文21年(1552)、北条氏との合戦に際して、「御加護を請い奉らん」と戦勝を祈願した。本殿はこのとき造営、寄進された。

北口本宮富士浅間神社

富士吉田市上吉田 富士吉田駅→徒歩15分

富士山鎮護の神で、社記によれば永禄4年(1561)、信玄が再建造営したという。参道は大鳥居まで150メートル。石灯笼が苔むして並ぶ。

富士吉田市歴史民俗博物館

TEL.0555-24-2411

富士吉田市上吉田 富士吉田駅→バス20分

富士北麓の「日々のくらしとまつり」「富士吉田の歩み」「地域をささえた産業」「富士山の信仰」などの展示がある。



猿橋



勝山城跡からの眺め



富士御室浅間神社

武田3代の祈願所、勇壮な富士に託した戦勝。



岩殿城跡

大月市賑岡町 大月駅→徒歩60分

郡内守護・小山田信茂の要害。織田軍に攻められた勝頼が、新府城を諦め、最後に目指した山城。しかし、信茂に拒まれ天目山で最期を遂げる。



岩殿城跡

猿橋

大月市猿橋 猿橋駅→徒歩20分

日本3奇橋。谷が深いので通常の橋脚を使わず、兩岸からはね木を用い、橋を支える構造。甲斐国の防御の拠点で、陣が張られた。

勝山城跡

都留市谷村 谷村町駅→徒歩30分

谷村城の非常時に籠もる要害城。曲輪・堀・石垣などの遺構がある。秋元氏の時代には、幕府献上のお茶の貯蔵庫「お茶壺蔵」があった。

富士御室浅間神社

富士河口湖町勝山 河口湖駅→バス10分

武田3代に崇拝され、社宝に「武田不動明王」「勝山記」などがある。信玄が、娘・黄梅院殿の安産祈願をした「願書」2通も残る。



富士吉田市歴史民俗博物館

Access Information

清里・葎崎・南アルプス エリア 北杜市・葎崎市・南アルプス市

避暑地として知られる清里や名水で知られる白州、武田氏発祥の地として有名な葎崎が含まれるエリア。南アルプス市では、くだもの狩りが楽しめる。

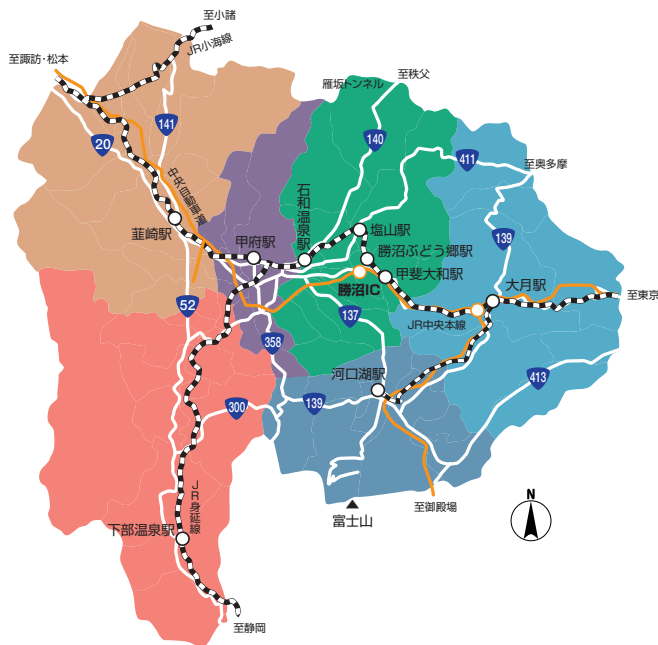
甲府・昇仙峡エリア 甲府市・甲斐市・中央市・昭和町

県庁所在地である甲府が含まれるエリア。歴史の古い湯村温泉郷や国の特別名勝に指定されている昇仙峡がある。武田神社をはじめ武田氏ゆかりの史跡も多い。

富士川流域 エリア 身延町・南都町・早川町・市川三郷町・増穂町・鯉沢町

和紙、印章、硯などの伝統工芸、花火の産地として知られるエリア。「信玄かくし湯」の代表格である下部温泉郷や日通宗総本山として知られる身延山久遠寺がある。

それぞれのエリアに、歴史物語がある。 さあ、山梨歴史めぐり旅へ



くだものワインの里 エリア 山梨市・甲州市・笛吹市

笛吹川の河畔に広がる石和温泉郷や奥秩父唯一の秘境といわれる西沢渓谷のあるエリア。日本一の生産量を誇るもやぶどう、日本のワインの生産地としても有名。恵林寺をはじめ武田氏ゆかりの史跡も多い。

東部 エリア 大月市・都留市・上野原市・丹波山村・小菅村・道志村

東京都や横浜市に水を供給している源流がある自然豊かなエリア。リニア実験線もこのエリアにある。キャンプ場なども数多くあり、釣りも楽しめる。

富士山・富士五湖 エリア 富士河口湖町・富士吉田市・鳴沢村・山中湖村・忍野村・西桂町

富士山とそれを取り巻くように点在する富士五湖のある全国有数のリゾート地。富士登山の入口としても知られている。

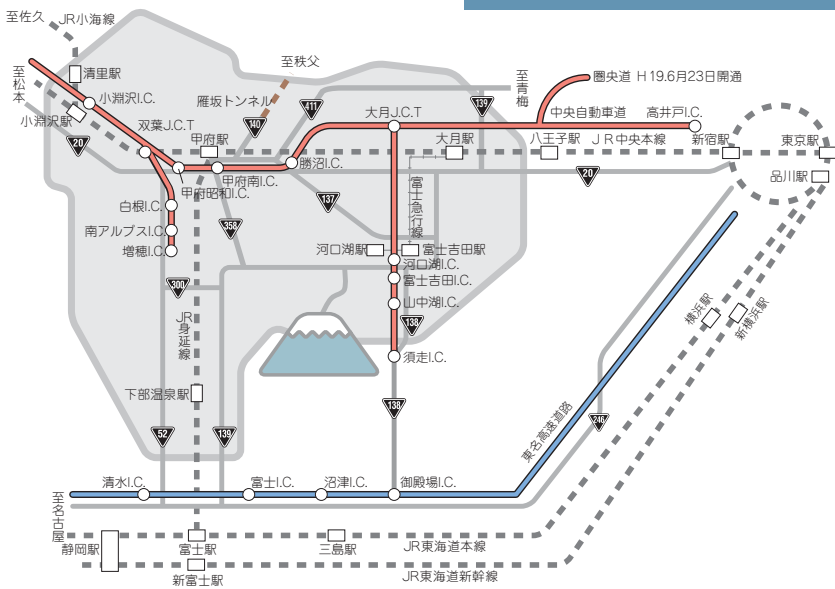
ACCESS 交通のご案内

●電車でお越しの場合

新宿駅	—— JR中央本線・特急 / 1時間30分 ——	甲府駅
新宿駅	—— JR中央本線 / 2時間 ——	塩山駅
松本駅	—— JR中央本線・特急 / 2時間30分 ——	甲府駅
松本駅	—— JR中央本線3時間 ——	塩山駅

●お車でお越しの場合

東京方面	—— 中央自動車道 / 1時間20分 ——	甲府昭和IC
名古屋方面	—— 中央自動車道3時間 ——	葎崎IC
静岡市方面	—— 国道52号 1時間30分 ——	増穂IC 30分
	—— 中央自動車道・中部横断自動車道 ——	甲府昭和IC
御殿場方面	—— 国道139号 30分 ——	須走IC 1時間10分
	—— 東富士五湖道路・中央自動車道(大月JCT経由) ——	勝沼IC

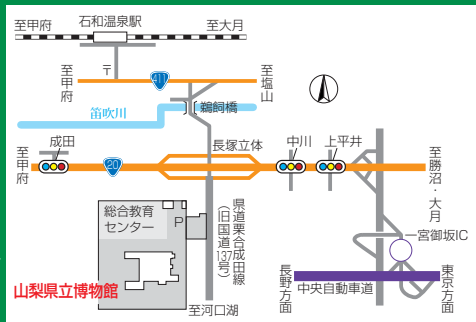


テーマは「山梨の自然と人」

山梨県立博物館 かいじあむ

山梨の風土と歴史を知ることのできる博物館。県内各地の自然・文化遺産、文化施設ともネットワーク。様々な人々が参加し、出会い、楽しみながら学ぶことができる「人・モノ・情報」が交流する博物館です。

住所 笛吹市御坂町成田1501-1
 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 電話 055-261-2631
 休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日が休館)
 祝日の翌日(土曜日が祝日の場合の日曜日は開館)
 臨時開館・臨時休館の場合もあり
 ※平成20年4月から休館日が毎週火曜日に変更になります。
 常設展 一般500円(20人以上の団体は400円)、
 高校生・大学生210円(同160円)、
 小・中学生100円(同80円)



<携帯サイト>

●観光のお問い合わせは 富士の国やまなし観光ネット <http://www.yamanashi-kankou.jp/>



(社)山梨県観光物産連盟	TEL.055-231-2722	甲府市丸の内1-8-5 県民情報プラザ1階
山梨県観光振興課	TEL.055-223-1557	甲府市丸の内1-6-1
富士の国やまなし館	TEL.03-3241-3776	東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル1階
中央線沿線案内センター	TEL.03-3341-0295	東京都新宿区新宿3-38-1 JR新宿駅東口1階
山梨県大阪事務所	TEL.06-6344-5961	大阪市北区梅田1 大阪駅前第3ビル21階
山梨県立富士ビジターセンター	TEL.0555-72-0259	南都留郡富士河口湖町船津6663-1

